

# キャリア教育



小学校高学年

中学校

高校

総合

プロフェッショナル 仕事の流儀

58分

## 闘いの螺旋、いまだ終わらず ～漫画家・井上雄彦～

(2009年放送)

### この番組の良さ



#### 漫画作りのドキュメント

発行部数1億部を超えるバスケットボール漫画『SLAM DUNK』、吉川英治の小説『宮本武蔵』を漫画化した『バガボンド』。本番組は、世代を超え熱<sup>たけひこ</sup>い熟な支持を集める漫画家・井上雄彦氏のドキュメントです。漫画作りに懸ける情熱とそこに込められた思い、そして信念ある生き様を本番組から感じ取ることができます。

#### こだわりを捨てない生き方

井上雄彦氏の仕事へのかかわり方は、一言で言うと「自分のこだわりをとことんやりきる。」ことです。1枚の絵でも自分の伝えたい思いが表れるよう納得がいくまで考え抜き、何度でも描き直します。苦悩しながらも自分の思いにこだわり続ける漫画家としての姿勢は、子どもたちにとって、これまでの自分をふり返ったり、これからの自分の生き方や仕事について考えたりするよい機会となります。

### 番組活用のポイント

#### 仕事への情熱とこだわり、そして苦悩

手軽に読めて楽しい漫画。しかし、作品作りにかかわる人々はそのすごい情熱をかけ、様々な苦悩と葛藤を乗り越えて作品を作っています。本番組に出てくる井上雄彦氏は、知る人ぞ知る天才漫画家です。その井上氏の作品作りのドキュメントを通して、仕事への情熱、こだわり、そして苦悩を知ることができ、自分の一生を通した仕事について考えるきっかけとすることができます。

#### 「手に負えないこと」に挑み続ける

好きなことは、楽しいこと。そのことを一生の仕事にできる人は幸せです。しかし、好きなことだからこそ、そこにこだわりがあり、よりレベルアップを目指して取り組むための苦悩があります。

井上氏は、インタビューの中で「手に負えないことにあえて挑み続ける」ということについて語ります。その仕事の流儀は、井上氏のライフヒストリーを交えながら、プロとしての仕事への思いやかかわり方、生き方にまで関係していることが語られていきます。仕事を通じて、苦悩を乗り越えながら自分自身を高めていくという生き方は、楽なこと楽しいことに流れがちな者にとって、自分自身の生き方を見つめ直す、よいきっかけとなります。

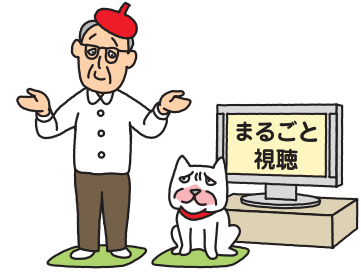
#### 勤労観を育むために

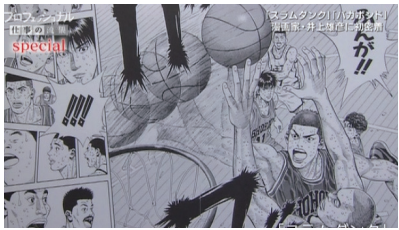





本番組の活用だけにとどまらず、勤労観を育むために他の番組を資料として活用すると効果的です。命を懸けて自分の責任を全うしていく消防士たちの生き様を描いた『炎上 男たちは飛び込んだ ホテルニュージャパン 伝説の消防士たち』(P.38)などが活用できます。子どもたちの実態に応じて、これらの番組と関連させ、職業や生き方についての学習を行うことで、さらに学習の効果が期待できます。

学習展開例

授業時間 80分

# 『SLAM DUNK』『バガボンド』 仕事を通じて自分自身を高めていく



| 時間配分         | 学習活動   | 教師の支援  |
|--------------|--|--|
| 8分           | <p>①自分の好きな漫画について話し合う。<br/>②漫画家の仕事について知っていることを話し合う。</p>    | <p>○漫画家の仕事について興味をもつことができるよう、自分の好きな漫画について話す時間をとる。</p> <p>○できれば、教師も自分のお気に入りの漫画について、実物を持ってきて話をする。(『SLAM DUNK』、『バガボンド』など)</p> <p>○「締め切りがある」「新しいことを生み出していく」ということを押さえ、後の番組視聴の際の視点となるようにする。</p>   |
| 58分<br>(52分) | <p>③番組を視聴しながら考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p><b>視聴</b><br/>・髪の毛まで生き生きと描かれている作品『バガボンド』</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>・作品作りに苦悩する井上さんの様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>・一枚の絵に誠実に向き合い、納得いくまで取り組む</p> </div> </div> | <p>○自分が心に残った言葉があれば、メモするよう指示する。</p> <p>○これまでのペンでなく、筆という新しい描画方法に挑戦し、自分の力量を高めていこうとしていることを押さえる。</p> <p>○「井上さんは、なぜそこまで苦勞して漫画を描いているのか。」と問い、仕事へのかかわり方について考えながら視聴できるようにする。</p> <p>○まるごと視聴が望ましいが集中力が続かない、時間設定が難しい場合は、51分20秒で視聴を止め次の活動へ進めてもよい。</p> |
| 10分          | <p>④番組を見て心に残った言葉を話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>「バガボンド」最終巻へ<br/>井上 上誠彦</p> <p>「どんだけこの作品で成長させてもらったかっていうことか」</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>「バガボンド」最終巻へ<br/>井上 上誠彦</p> <p>最終的には「一応、オーケーなんですけど」</p> </div> </div>  | <p>○子どもたちの心に残った言葉を板書していく。</p> <p>○「どんだけこの作品で成長させてもらったか。」という井上さんの言葉をとりあげ、仕事へのかかわり方について話し合うようにする。</p>  |
| 4分           | <p>⑤今日の学習のふり返りを書く。</p>   | <p>○今日の学習で学んだことをノートなどに書く。時間があれば、ふり返りや感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。</p>  |